



町中学生代表 広島平和記念式典へ

9月5日(月)から9日(金)まで、町役場「町民ホール」(1階)で活動報告を展示しています。



8月6日に開催された広島平和記念式典へ参加するため、町中学生派遣団が8月5日～7日にかけて広島市を訪問しました。この事業は昨年に続き2回目となるもので、10名の中学生が町の代表として訪問し、71年前の原爆の実相にふれ、平和への誓いを新たにしました。

原爆ドーム・平和公園

益子実希(東陽中 1年)

「百聞は一見にしかず」原爆ドームは悲惨と聞いていましたが、見た瞬間本当に悲惨で言葉が失いました。また、平和公園では一つ一つの記念物に深い意味と想いがあるのが興味深かったです。平和を守る大切さを改めて実感しました。

菅野 咲(東陽中 2年)

原爆ドームは思った以上に悲惨な姿で、この建物を見て核爆弾の保有をやめてほしいと思いました。平和公園は、自分が歩いている所を誰かが苦しみながら通っていたらと考えると、一步一步が重く感じられました。

豊田美彩音(黒田原中 3年)

原爆ドームは初めて見たので、とても迫力がありました。ずっと残っていかなくてはいけない建物だと思っています。平和公園では平和の鐘や供養塔などの被爆者の魂が詰まっているように感じました。そして、

これからは自分たちが平和を守るのだと確信しました。

平和記念資料館

大野紗季(東陽中 2年)

目を背けたくなるような物がたくさんありました。印象に残ったのが時計です。8時15分で止まっていた。また、オバマ大統領の折った鶴もありました。世界中の人々にヒロシマ、核兵器の怖さを知ってもらいたいです。

平和記念式典

佐藤晴香(黒田原中 3年)

たくさんの方の前で発表していた方達の言葉が一つ一つ心に響きました。また、今回新たに名簿にのる人の数がいまだにとても多いことに、原爆がどれほど悲しく、どれほど悲惨なものなのか、改めて思い知らされました。

後藤佑香(東陽中 2年)

式典は人がとても多く、外国から来た人も参加していました。一人一人が平和を願い、核は必要ないといった思いが、テレビで見るとよりずっと強く伝わってきました。これからの未来、平和でありたいと強く思います。

被爆体験記朗読会・平和の集い

高橋香菜(黒田原中 3年)

被爆された方の話を聞いて、目の前の人を助けたくても、一人では不可能で見捨てたのかなかったことを知り、怒りや悲しみがこみ上げてきました。また、中高生が平和について発表する平和の集いでは、各団体一人一人の平和を願う強い主張に感動しました。

中田 宇(那須中 2年)

今回一番印象に残っているのは、朗読会です。当時被爆された方の話を聞いて、自分が想像している以上に悲惨な状態だったということ、原爆資料館に残された遺品などと重ねて思い浮かべたら、とても切ない気持ちになりました。

折り鶴献呈

菊地星奈(東陽中 1年)
私は折り鶴作成をがんばりました。子どもフェスティバルでは地域の皆さんにも折っていただき、無事に千羽鶴を献呈することができました。これからは8月6日になったら鶴を折り、平和を思う気持ちと、8月6日の出来事を忘れないようにしたいです。

増子千穂(東陽中 2年)

たくさんの方の御協力のもと、無事に折り鶴を献呈することができました。私が折り鶴に込めた想いは世界平和です。平和公園のたくさんの方の鶴を見て、平和に対する強い想いが伝わりました。世界の平和は難しいけれど、一人一人が信じれば、実現できると思います。

10月17日から23日は行政相談週間です

行政相談とは、国等が行っている仕事への要望や苦情・意見を聴き、解決や実現を図ることを目的としています。

相談は、総務大臣から委嘱された行政相談委員がお受けします。無料で相談でき、相談事項は固く守られますので安心してご相談ください。

▼日時 毎月第1・第3金曜日
午前9時～正午

▼会場 ゆめプラザ・那須

【秋の特設巡回行政相談】

▼日時 10月17日(月)

午前9時～正午

▼会場 伊王野基幹集落センター
会議室

▼行政相談委員 平山英夫さん

☎5234

※相談日以外の日は、自宅でも応じますのでお気軽にご相談ください。